

2026年6月11日
 パーソルダイバース株式会社

パーソルダイバース、Tokyo Pride 2026 「プライドフェスティバル&パレード」に参加

～社内 LGBTQ+ アライコミュニティ「P-Rainbow」を中心に LGBTQ+ アライ活動を推進～

総合人材サービスのパーソルグループ傘下で障害者雇用支援事業を手掛けるパーソルダイバース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡部 広和 以下パーソルダイバース）は、2026年6月6日・7日に開催されたアジア最大級のLGBTQ+イベント「Tokyo Pride 2026」に、パーソルグループの一員として参加しました。シルバースポンサーとしてブース出展およびプライドパレードに参画し、グループのアライ（Ally）コミュニティ「P-Rainbow」のメンバーを中心とした社員が「はたらく未来 みんなでアップデート」をテーマに、多様性（ダイバーシティ）とLGBTQ+理解促進に向けた体験型コンテンツを提供。来場者参加型のビジョンボード企画では、多くのメッセージが寄せられ、初日からボードが埋め尽くされるなど盛況を博しました。



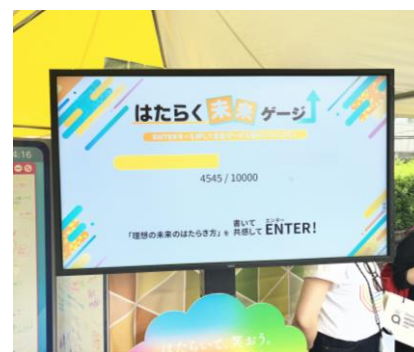
パーソルダイバース、「Tokyo Pride 2026」に参加

「書く」から「体験する」へブースをアップデート

パーソルグループは、2020年より継続してTokyo Prideに協賛しています。2026年のブースでは、昨年好評だったビジョンボードへのメッセージ記入に加え、新たに“エンターキーを押して完了させる”体験型の仕掛けを導入しました。

昨年は、「もし自分がCEOだったら、どんな“はたらく”のルールをつくりたいか」をテーマに、来場者が自由にアイデアを書き込む参加型展示を実施し、ボードいっぱい多様なメッセージが集まりました。今年はその取り組みをさらに発展させ、メッセージを書く体験に加え、自らエンターキーを押すアクションを取り入れることで、「はたらく未来」をより自分ごととして捉えられる場へと進化させました。

実際に体験した来場者からは、「自然と参加できた。」「体験することで印象に残った。」といった声が寄せられ、来場者とともに未来を描く共創の場として、さらなる広がりを見せました。



社内にも広がる「Tokyo Pride」への参加

パーソルグループでは、Tokyo Prideのパレードに参加する社員ボランティアの数が年々増加しており、2026年は参加するグループ会社の幅もさらに広がりました。こうした取り組みを通じて、Tokyo Prideへの参加が社内に着実に浸透し、多様性への関心の輪が広がっています。

ブース運営を担った社員ボランティアからは、「昨年は来場者として参加し、楽しそうだと感じたことをきっかけに、今年は初めてボランティアに挑戦しました。」「もともと多様性に関心があり、イベントを通じてリアルな声に触れたいと思い参加しました。」といった声が寄せられました。

また、社員でありLGBTQ+当事者でもあるパーソルダイバースの荻野佳織は、「このイベントに参加すると元気をもらえます。グループ社員や来場者との交流を通じて、多様な価値観や悩みに触れることができました。以前は『知ってもらおう』ことが中心だったイベントが、今では『みんなで楽しむ』場へと変化してきており、その変化をとてうれしく感じています。」と語っています。

本イベントへの参加を通じ、社員は来場者との対話から学びを得ながら、多様性を尊重する取り組みを主体的に体感する機会となりました。

広がるアライの輪を力に、誰もが安心してはたらける未来へ

当社は今後も、特例子会社としての強みを活かし、誰もが安心してはたらける環境づくりに取り組んでまいります。多様性を特別なものではなく日常として捉え、一人ひとりの違いが尊重される社会の実現を目指します。また、LGBTQ+の方々を理解し支援する「アライ (Ally)」の存在を広げる活動も積極的に推進し、誰もが自分らしくいられる職場づくりに貢献してまいります。

※アライ (Ally) : LGBTQ+等の性的マイノリティ当事者への理解・支援を表明する人たちのこと



パーソルダイバース社員／荻野佳織



パレードに参加したパーソルグループの社員たち

【パーソルダイバースの性的マイノリティに関する活動】

■「PRIDE指標」において、6年連続で「ゴールド」獲得

パーソルダイバース個社としては、LGBTQ+等の性的マイノリティに関する取り組み評価指標「PRIDE指標」において、当事者がはたらきやすい環境作りのための指標をすべての項目で対応できていると高く評価され、2020年度より6年連続で「ゴールド」を獲得しています。

・パーソルダイバース 性的マイノリティに関する方針ステートメント
<https://persol-diverse.co.jp/feature/sdgs/statment/>



■社員有志によるアライコミュニティ「P-Rainbow」

パーソルダイバーズは、LGBTQ+等の性的マイノリティ当事者に共感し、寄り添いたいと願う社員有志によるアライ (Ally) のコミュニティ「P-Rainbow」を中心に、社内外における周知や啓蒙活動を積極的に行っています。社内やパーソルグループ向けの勉強会やランチ会を通じて、当事者やP-Rainbowメンバー自らの体験や考えを伝えているほか、企業に対し、LGBTQ+の基礎知識をはじめインクルージョンを推進していくための方法について解説するセミナーを開催しています。

参考：パーソルダイバーズにおける性的マイノリティに関する取り組み

2020年11月 「PRIDE指標2020」ゴールド認定 (以降、現在まで6年連続認定)

2021年3月 障害者かつLGBTQ当事者向け転職支援サービス 開始

2021年4月 法人企業向けセミナー「当事者の声から学ぶLGBTQ基礎知識セミナー」開催 (以降毎月開催)

2021年6月 社内イベント「P-Rainbow(LGBTQ+アライコミュニティ)メンバーによるトーク会」開催

2023年4月 社内アライ向けランチ会 (毎月実施)

2023年11月 社内向けラジオ出演 & 社内向け勉強会

2024年2月 セクマイ大会2024登壇 LGBT×障害の転職・就職支援～パーソルダイバーズの試みと実践～

2024年12月 社内向けLGBTQ+に関する基礎知識ガイドブック「LGBTQハンドブック」リリース

2025年3月 社内イベント「はたらく上で知っておいてほしいLGBTQ+の基礎知識」開催

2025年5月 社内向けアライ啓発ポスターリリース

■累計3,000名超が登録。LGBTQ当事者×障害者のための転職・就職支援サービス

LGBTQ+当事者かつ障害のある方に対する転職・就職支援サービス「LGBTQ当事者×障害者のための転職・就職支援サービス」を展開しています。障害による配慮だけでなくジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティに起因した不安や悩みを抱えた方に、求人情報のご紹介やキャリアプラン設計、就職の不安解消などをサポートしています。

現在までに3,000名を超える当事者にサービス登録いただき、ご支援した方からは「私の経歴をもとに、経験を活かせる職種を提案してくれました。自分に合う仕事を選んで紹介してくれたんだなと感謝しています。」「自信を持って面接に臨むことができ、一社目で内定をいただくことができました。」などのお言葉をいただいています。採用された企業様からは「今回の採用をきっかけに、社内の性的マイノリティに対する理解をさらに広げたい」というお言葉をいただいています。

・LGBTQ当事者×障害者のための転職・就職支援サービス：

<https://doda.jp/challenge/service/support/rainbow.html>

■パーソルダイバーズについて <<https://persol-diverse.co.jp/>>

パーソルグループの特例子会社として、「障害者雇用を成功させる。そして、その先へ。」をミッションに、障害者の多様なはたらき方とはたらく可能性の創出に取り組んでいます。グループ内外の企業や地域と連携した多様な業務受託サービスを展開するほか、国内最大級の求人・登録者数を持つ障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」、就労移行支援事業所「ミラトレ」「Neuro Dive」の運営や、企業の雇用課題を支援する「障害者の人材紹介」「障害者雇用コンサルティング」などのサービスを提供しています。

■「PERSOL (パーソル)」について <<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開しています。グループの経営理念・サステナビリティ方針に沿って事業活動を推進することで、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。

本リリースに関するお問い合わせ先

パーソルダイバーズ株式会社 広報窓口 MAIL : inquiry@persol.co.jp